



平成19年10月12日

各 位

埼玉県所沢市くすのき台3丁目18番地の3  
株式会社ピクルスコーポレーション  
代表取締役社長 荻野 芳朗  
(コード番号:2925)  
問い合わせ先 取締役総務部長 蓼沼 茂  
T E L 04-2998-7771 (代表)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成19年4月16日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

#### 1. 20年2月期中間期業績予想の修正(平成19年3月1日～平成19年8月31日)

(1)連結

(単位:百万円)

	売 上 高	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	8,812	186	96
今回修正予想 (B)	8,911	299	190
増減額 (B-A)	98	112	93
増減率 (%)	1.1	60.2	96.5
前期実績(平成19年2月中間期)	8,598	135	101

(2)個別

(単位:百万円)

	売 上 高	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	7,436	167	87
今回修正予想 (B)	7,490	202	115
増減額 (B-A)	53	34	27
増減率 (%)	0.7	20.7	31.7
前期実績(平成19年2月中間期)	7,340	125	36

(3)修正の理由

(連結業績)

売上高につきましては、製品、商品ともに順調に推移し、89億11百万円と計画を上回る見込みです。利益につきましては、子会社の㈱彩旬館において地元スーパー等への売上高が増加し収益が大幅に拡大したこと、子会社の㈱八幡屋においてスーパー等への売上高が増加す

るとともに製造効率化により黒字化したこと、原料野菜において調達体制の見直しを行ったこと、仕入商品の利益率改善、販売費及び一般管理費の減少などにより、経常利益2億99百万円、中間純利益1億90百万円と計画を大幅に上回る見込みであります。

(個別業績)

売上高につきましては、製品、商品ともに順調に推移し、74億90百万円と計画を上回る見込みです。利益につきましては、原料野菜において調達体制の見直しを行ったこと、仕入商品の利益率改善、販売費及び一般管理費の減少などにより、経常利益2億2百万円、中間純利益1億15百万円と計画を上回る見込みであります。

## 2. 通期業績予想について

通期の連結及び個別業績予想につきましては、平成19年4月16日の決算発表時に公表した予想に変更はありません。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上